

心と緑の調和をめざす



医薬品総合商社

株式
会社

重陽堂

長崎市恵美須町 3-4 ☎21-3939

漕魂

第三号



1978
長崎大学医学部漕艇部



熱気球にチャレンジする——柴 俊夫



肉体疲労時の^{ビタミン}VB₁補給に—— **アリナミン[®]A**

主成分のフルスルチアミン（ビタミンB₁誘導体）は、腸管からの吸収がよく、高い血中濃度をたもちながら、神経や筋肉にゆきわたって、すぐれた効果を発揮します。

【効能】 肉体疲労時のビタミンB₁補給、筋肉痛・腰痛・肩こり・神経痛の緩和、カッケ、病中病後・妊娠授乳期のビタミンB₁補給。☆アリナミンA25ミリ錠、ほかに5ミリ錠があります。☆説明書をよく読んで正しくお使いください。☆くわしいことは医師、薬剤師、薬局、薬店でご相談ください。



武田薬品工業株式会社 〒541 大阪市東区道修町2-27 **タケダ**

抗ペプシン作用 —— 基質蛋白保護作用

アルサルミンは、ペプシンの蛋白分解活性を抑え、潰瘍底部の基質蛋白と結合して潰瘍面を保護し、潰瘍の治癒を促進します。

〔適応症〕 胃潰瘍・十二指腸潰瘍

〔包装〕 顆粒 100g 500g 1kg 5kg

1g×1200包 1g×3600包

錠 600錠 1200錠

■使用上の注意——本剤の連用により、便秘の起ることもあります。

胃痛・悪心・嘔吐に

胃粘膜局所麻醉剤 **トピカイン^{顆粒錠}** の併用を



消化性潰瘍治療剤

アルサルミン[®]顆粒錠

シヨ糖硫酸エステルアルミニウム製剤



中外製薬株式会社

UL-3088



昭和53年 5月九山大会 多々良川にて

- | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 末永 | 難波 | 小倉 | 井上 | 小村 | 水谷 | 成松 | 出口 |
| 村山 | 今里 | 倉富 | 中崎 | 永見 | 松尾 | | |
| 永山 | 岡田 | 山近 | 谷川 | | | | |

明日の健康産業を拓く

医薬品総合卸

株式会社 **大黒南海堂**

本 社 福岡市博多区山王二丁目 3-5

長崎支店 長崎市光町 7-1

佐賀支店 佐賀市天神 1丁目 2-59

健康に奉仕する

藤村薬品株式会社

営業所 長崎・佐世保・五島・武雄
浦上・大波止

医薬品・医療品の総合商社
農薬・食品各種臨床検査

(〒854)

長崎県諫早市東小路町179

(株) 宮崎温仙堂商店

取締役社長 宮崎 六夫

電話 09572 (2) 3 3 5 0 (代表)

— 事業所 —

諫早・長崎・浦上・島原・佐世保・大村
五島・天草・佐賀・武雄・熊本・松橋

目次

ボート部のかかえている問題	高久 功	二	現役部員プロフィール紹介	一八
「ひょうたん」から「こま」	村上 文也	二	昭和五十二年度会計報告	二一
無 題	堤 健二	三	長崎大学医学部漕艇部OB会発足にあたって	二二
トレーニング	前原 洋二	四	長崎大学医学部漕艇部OB会会則草案	二二
追 想	小倉 猛	四	長崎大学医学部漕艇部関係者名簿	二四
ボート部	小村三代治	五	長崎大学医学部漕艇部OB名簿	二六
無 題	谷川 宗生	六	長崎大学医学部漕艇部現役部員名簿	二七
青春に賭けよう	山近 史郎	六	琵琶湖周航の歌	二七
昭和五十二年度大会成績		七	ボート精神(ボート百年より)	二八
キャッチの音	末永 俊郎	一三	編集後記	二九
一年が終つて	永見 耕一	一三		
無 題	永山 雄二	一四		
ボートと酒について	岡田 代吉	一四		
無 題	中崎 隆行	一五		
いいかげん録	今里 雅之	一六		
青春に賭けること	松尾 圭一	一六		

ボート部のかかえている問題

部長 高久功

医学部ボート部のかかえている問題は、いろいろあるようである。大学の学友会に直接所属していないため、部の運営上、ことに経費の点で、難かしいことがあるようである。

また医学部学生は、日常の勉強が大変忙がしいこともあり、部員がなかなか集まりにくいという問題もある。

このような情況の中で、熱心に練習している学生諸君には、頭が下がるが、対外的な試合の成績は、あまりよくないのが遺憾である。

ボート部の歴史上、長い中断の後に復活したこともあり、いろいろ御世話になることの多い先輩諸氏との間に断層ができていことも重要な問題である。

学生諸君は、よく考え、先ずボート部の先輩にまともな組織をつくつていただき、いろいろと御力になつてほしいということで、折にふれ先輩の方々と御相談願つていようである。

とにかく、ちゃんとした部法をつくらうということで努力している段階である。

このようないろいろな働きも、重要なことであるが、私から言わせてもらえば、逆境の中でも、とにかく頑張つて、よいクルーをつくつてほしい。先輩や仲間注目されるような業績をあげることが、一番大事なことなのではないだろうか。

皆様方の御理解と御支持を祈る次第である。

「ひょうたん」から「こま」

初代部長 村上文也

先日、五十二年度の漕艇部の活動記録をみせて頂いた。優勝こそ逸してはいるが、試合によつては準優勝まで進出して居り、今日では長大医学部の運動部の中では部員数、実力共に最右翼の一つにあげられるようになったことは嬉しい限りである。

御承知のように漕艇部は、丹羽、朝戸、冬野、田川君などの有志が中心となつて発足したが、かねて親交があつた丹羽君らの熱意にほだされて、ボートには全く無縁な私が部長を引受け、微力ながらお世話するようになった。暫くたつて何とかして自艇を持ちたいという話が部員の間持ちあがつた時、正直言つて私は無暴な計画だと思つた。というのは大学在職中、学会の寄附金集めに苦勞した経験から、今のような時代に多額の寄附を集めることの難しさを身に泌みて感じていたからである。それが予想外に募金計画が順調に軌道にのり、艇の購入にまでこぎつけた時は、文字通り「ひょうたん」から「こま」が出たような思いであつた。これは勿論、発起人代表になつて頂いた宮城重信先生をはじめ先輩諸先生方の温かい御援助の賜物であるが、これらの先輩に体当たりでぶつかつた当時の漕艇部の諸君の若い情熱が大きな原動力となつたといえよう。その後宮城先生を記念して宮城杯が制定されたが、若い諸君もこのような創設時代の先輩の並々ならぬ努力を宮城杯レースのたびに思い起して研鑽の一助にしてほしい。

運動部の存在意義は何といつても強くなることである。それが部員間のチームワークを高揚させ、更に先輩との固いつながりにまで発展していくものと信じている。

幸に東北大のボート部で活躍されていた高久教授を部長にお迎えしていることは何よりも心強いことで、今後も心技両面にわたつて御指導をお願いしたい。

来年は西医体の優勝という目標に向つて大きく前進して頂きたい。又長大医学部の漕艇部創立のシンボルともいえる宮城杯を自らの手で勝ち取ってもらいたいと期待している。

無 題

五十二年卒業 堤 健 二

一年前、ボート部に生活して感じた事を、ボートと青春と題して書いたのですが、現在はその生活から離れ、医者の駆け出しの生活に明け暮れる毎日ですので、ボートを追想することを何か書きたいのです。

今年の一月中旬に「初漕ぎ」という恒例の集いがあつて、久々にボートを漕がせてもらったのですが、ボートがいかに激しいスポーツであるかを今さらながら感じました。

入部した年の春の形上湾での合宿を思い出して、初めての入部という希望と不安が、今も自分の胸を熱くする。これからどうなるのだろうといつも期待でいっぱいだった。海のことを考えながら授業が終るのを待っている医学生であつた。しつかり勉強した後で、海

を見る事、ボートの上からブレードに砕け散る水しぶきに触れる事が何かしつかりした満足感であつた。何か無理に背伸びしようとする中で、無理をせずに人間味あふれるクラブを、というのが我々の通念になつていた。試合が一つ終ると「団」に皆で乾杯しに行つた。勝つても負けても我々は乾杯した。その乾杯する雰囲気は満足していたからだ。試合で優勝する事を目標に何とかしつかりやろうと頑張つた誇りがあるからだ。

ボート部にははじめをきちんとつける習慣があり、馬鹿みたいに真面目にやるときと、冗談をいつてもいい時との区別がはつきりしていた。このことはとても僕が誇りに思うことの一つである。ボート部は飲んべエであるけれども、筋金入りである、と思つている。そしてその筋金入りの中から、皆の事をしつかり考え、ボート部を今まで以上にボート部らしくしようとする指導者がどんどん出て来て活躍して欲しい。

今感じることが、但、考えた事はすぐ行動に移せという事です。筋道を通して考えた結論を一秒も間を置かずに実行することです。自分の為に、そして皆の為に良いと考えるならば、どんどん実行して下さい。

同じ与えられた時間があるならば、しつかりやれば十分長い時間である。ボートを漕ぎ、そしてしつかり生きよう。

僕は直接に顔をあわせて応援することは、現在困難ですが、心から応援します。頑張つて下さい。

トレーニング

主将 前原 洋 二

九月からキャプテンとなつて半年近くになつてしまつた。しかし実際問題としては、今年の一月になつてから、やつと皆と走る事が出来た。久しぶりに走ると自分の体力の衰えに驚くばかりである。走つていると途中で歩きたいと思う衝動に駆られることしばしばである。しかし、今まで歩かないでやつて来たのだからと思ひながら走り続けるのみである。

だが、練習の成果もなく体重78kgで減りもしない。ましてや腹のぜい肉がとれるどころではない。松山のグラウンドでは、皆に二周近くも離されるくらい脚力が落ちて来ている。だんだん体調も元に戻つてきているみたいであと少しで皆と同じぐらいには走れるようになるだろうと思つている。

トレーニングの後、下宿に帰ると非常に疲労感を覚え、何もしたくない状態になる。教養時代はトレーニングの終つたあと飲む酒だけが楽しみだつたが、今は、アルコール性脂肪肝とのことで酒が飲めないでいる。酒が飲めないと夜の時間が非常に長く感じるのである。「飲む、打つ、買う」のうち、つまり人生の三分の一が寂しくなつた。当然のことながら品行方正な私であるからして「買う」などは一度もしたことがない。打つはちよつとだけ。

結局のところ私に残されたものは、このボートのトレーニングと勉強のみである。今、下級生と一緒に酒を飲めないのが非常に寂しい。はやく酒が飲めるようになりたい。

追 想

学Ⅲ 小 倉 猛

五十一年の九月から去年の八月まで主将という立場にあつたけれども、生来ののんびりさも抜けきらぬままに、前原にバトンタッチすることになつてしまつた。思えば何から何まで、納得のゆくものがなかつたような気がしてならない。これもすべて自分の力量のなさ故であろう。このことに関して諸先輩並に部員一同に対して誠に申し訳ないと思つている。

昨年のレースでは、五月の九山で、対抗、オープンともにシエルレースだつたが、Aクルーが思うように伸びず、結果的にBクルーとほとんどタイム的にも同じだつたが、六月の九州朝日までに、どうにかAクルーも昇り調子となり、アクセシデントでBクルーには破れたものの、その間の努力は、目を見張るものがあつた。しかし、考えるところあつて、A、Bクルーのメンバーの入れ替えを思つたのは夏合宿前であつた。その新クルーも、前原の故障で前のクルーとあまり変化しなかつたが、Bクルーに教養生を入れたことで、西医体直前のBクルーに成長が認められたことは嬉しかつた。ただし、西医体では、レース直前の練習実績をBクルーが出せずに終つたことは残念であつた。新入生のナツクルも西医体では随分と活躍が目立つたが、今後はシエルでその力を伸ばしてもらいたいものである。西医体のシエルでは、初めて準決勝三位までこぎつけたものの、ベスト四位までに食い込むにはまだまだ大きな壁があるような気がする。

七月の佐世保工專との第一回定期戦は雨で流れはしたものの、この試みはこれからも続けたいと思う。

ところで、ボートというスポーツは何故に、これほどゲルがかかるとのかと思われるくらいクラブでの出費が問題になる。

今使用しているシエル艇（雲仙）は、四十九年春に寄贈されたものであるが、今年で五回目の春を迎えようとしている。シエルの寿命が四年とも五年とも言われている中で、例にもれず、我がボート部でも次期新艇の購入を考えねばならなくなってきた。このことも大きな事である。

また、今、ボート部で使用しているトラックも大分古くなり、安いかつスムーズに誰でも運転できる代物とは言いがたくなってきた。このことも考えねばならない。

それに遠征である。ボートは千米ないし千五百米の直線コースで水がなければ話にならない。そのため、レースのコースはある程度限られ、それも都市部にあるということは、ほとんどないため、艇の運搬のためのトラックを借りなければならぬ。

このため多くの諸先生方から、毎年夏に、御援助していただいて、どうかこの苦しい台所をやりくりさせていただいて。御無理をお願いしているだけに、部員一同今年は飛躍の年にしたいものと思っている。

最後に、この一年、誠に至らない主将ではあつたけれども、全面的に協力してくれた皆に感謝したい。

ボート部

学Ⅲ 小村 三代治

独断と偏見に満ちたボート部十戒なるものを考えてみようと思ひ立ち、頭に浮かぶものをいくつか挙げてみました。

① イメージ漕法をしないものは、いい選手になれない。

② 冗談と集中するところのけじめをつける。

③ 前日、自分がやつたことを過大に考えているものはその日は、大したことはなさない。

④ 頭を持ち上げる、うつむくな。

⑤ けりだしたら、徹底的にけれ。

⑥ オールが深くなつたのをローロックのせいにするな。

⑦ 強くなりたかつたら、態度で示せ。

⑧ コックスの欠点をいうな、自分の欠点をいえ。

⑨ 途中でやめるな。

⑩ ボートマンで根性のないのは何もないのと同じだ。

今度はガラッと話を変えて、へ香水の嗅ぎ方について、ボートマンたるものジエントルマンとして、香水の嗅ぎ方ぐらい知つてないといけない。香水は化学製品である。いろいろな香料が混ぜ合わせてあるので、その種類によつて気化スピードが異なる、一番最初に匂う香りを表立（うわだち）、次に匂うのが中立（なかだち）、最後に匂うのが残立（あとだち）。上等の香水は残立が身上であり、安物の香水は表立だけが強烈に匂つて、あとは、はい「サヨウナラ」となるそうです。だからピンに鼻をつけて嗅ぐのでは

なく、手の甲に香水をつけて、ふつと吹いてから時間をおきそのあとかぐのがよいのだそうです。

無題

学Ⅱ 谷川宗生

去年は僕らにいろいろな問題を残してくれた。どういうコンディションのもとでも、マコンで漕いで●良いのであろうか。コンディションに合わせて、マコン、セミマコンと使い分けるべきではないのだろうか。練習の時はどんどんピッチを上げていくようにしていたのに、いざ試合となると波が高いために、ピッチをおとして漕いだ。練習ではあまりやつていない漕法であつた。状況は千差万別、特に今年の琵琶湖はそうである。いかなる場合も、ベストを出せるような練習をしていかななくてはならないと思う。

去年は、一年生が六人も入つて来た、互いに仲良し、とても良い雰囲気であるが、欲をいうと、ともに引つ張り合つて行くような積極性が見られないのが残念である。練習日以外の時も、はげまし合つて、頑張つて欲しい。

もうすぐ新一年も入つて来るので、クラブの上でも、人間性の上でもりつぱな先輩になつてほしい。

二年生は、三人しかいないが、学一になる者の心得としては、自分にきびしく、他人にもきびしくあつて欲しい。

どんなクルーが作られるかは、わからないが、各クルーは、精神的なつながりをしつかりと持つてほしい。

まあとにかく一回は勝たんといかんばい。

青春に賭けよう

学Ⅰ 山近史郎

去年の西医体でのみじめな敗北を今でも忘れない。他のクルー、一年生のクルーまでもが準決勝に進出し、自分らのクルーだけが第一日目で終わつた。ただ空しさだけ。満足のゆく練習、体力づくりをしてこなかつたからだろう。悔いなき練習をしてこそ、くやしきもでてくるのである。

今年から陸トレにしろ、練習では、高い目標—優勝—を恒に心に念じながらやることにした。クラブをする以上は、全員がつねにベストを尽くさねばならない。ただ漕ぐ、ただ走る、じゃだめだ、全く意味がない、力がつかない、自分の限界に挑戦しなければならぬ。クラブの時間ぐらいは、自分の体をいじめよう。

今年の元旦にクラスの友だちと駅伝に参加した。練習はさつそく去年の十月の末から朝、授業前に走つた。非常にきつかつた。しかし、このとき、何かに賭けるすばらしさを味わつた。青春に賭けるものをもつてゐることはほんとうに美しいことだ。若者の財産だ。

青春に賭けよう、クラブの一日一日を大事に内容を高めるようベストを尽くそう。他人を気にせず、自分の体力を少しづつでも高めていくように努力しよう、常に目標をもつてがんばろう。試合が終わつたあとの、勝利の喜び、敗北のくやしさを堂々とかみしめられるように。オールメン、ボートに賭けよう。

昭和52年度 大会成績

<九山医体> 5月

試合場所；熊本県口津湖 900 mコース

成績；対抗3位，オープン2位

クルー；

対 抗		オープン	
C	成 松 元 治	C	水 谷 明 正
S	谷 川 宗 生	S	小 倉 猛
3	井 上 健一郎	3	出 口 正 己
2	前 原 洋 二	2	小 村 三代治
B	難 波 裕 幸	B	村 山 晋

試合経過

前日の練習日から、激しい雨に降り続けられ、あわや、試合中止かという場面もあつた。だが、せつかく集まつたのだからという熊大側の意見により試合を決行。いくぶん、雨により気合をそがれた感じがありましたが、他校もそれは同じはず。対抗は、山口大、熊大にスタートからおいてきぼりをくわされ、900 mコースの悲しさで、最初離されると、そのままの形でゴールへ。

オープンは健闘、2位に食いこみました。さすがBクルーという声しきり。

<県 漕> 6月

試合場所；琴海町形上湾 1000 mコース

成績；Bクルー3位，Aクルー準決敗退，C，D，Eクルー予選落ち

クルー；

	Aクルー	Bクルー	Cクルー
C	成 松 元 治	水 谷 明 正	水 谷 明 正
S	谷 川 宗 生	小 倉 猛	山 近 史 郎
3	井 上 健一郎	出 口 正 己	末 永 俊 郎
2	前 原 洋 二	小 村 三代治	永 山 雄 二
B	難 波 裕 幸	村 山 晋	今 里 雅 之

	Dクルー	Eクルー
C	水谷明正	成松元治
S	成松元治	倉富彰秀
3	松山平	中崎隆行
2	永見耕一	森田馨
B	岡田代吉	松尾圭一

試合経過

新入生のデビュー戦ということで、C、D、Eクルーまで作り、何と5クルー。へたな鉄砲も数うちや当たるといつたところだな、という噂もチラホラ。A、Bクルーとも予選を無事通過したが、C、D、Eクルーは予選どまり。さらにC、D、Eクルーは敗復でもビリを競い合う始末。新入生のデビュー戦は、まあこんなもの。ボートを甘くみたらあかんでえ〜。又Aクルーは期待を裏切り準決落ち。ごめんなさい。しかし、Bクルーは健闘、堂々3位。さすがBクルー。

<九州朝日レガッタ>

試合場所；北九州八幡河内貯水池 1000 mコース

成績；A、B（シエル）ともに予選敗退、C（ナツクル）準決敗退
クルー；

	Aクルー	Bクルー	Cクルー
C	成松元治	水谷明正	倉富彰秀
S	谷川宗生	小倉猛	山近史郎
3	井上健一郎	出口正己	末永俊郎
2	前原洋二	小村三代治	永山雄二
B	難波裕幸	村山晋	今里雅之

試合経過

シエル2はい、ナツクル1ぱいで、九州朝日という大試合にのぞんだのですが、結果は、ひよつとすると、1日で帰ることになるのではないかと頭のかたすみに浮かんだ程、悲惨であり、かろうじてCクルーが敗復で準決に上り、翌日に望みをつなぎました。その晩、Cクルーの面々には、皆頭が上らず、Cクルーも、初めて他の艇を後ろに見て漕いだと大喜び。翌日の朝日新聞に、白鳥を追いかけてまわして漕いだふとどきな艇があつたとスツパ抜かれて、張本人であるAクルーの面々は苦笑い。白鳥さん、艇の進む方向に逃げないで、左右をよく見て池を横断して下さい。

<<西 医 体>>

8月6日, 7日

試合場所; 唐津市松浦川 1000 mコース

成 績; Aクルー(シエルフオア) 準決進出

A, Dクルー(ナツクルフオア) 準決進出

Bクルー(シエルフオア) 予選どまり

ク ル ー ;

	Aクルー	Bクルー
C	成 松 元 治	水 谷 明 正
S	小 倉 猛	山 近 史 郎
3	井 上 健一郎	末 永 俊 郎
2	谷 川 宗 生	小 村 三代治
B	難 波 裕 幸	村 山 晋

	Cクルー	Dクルー
C	前 原 洋 二	出 口 正 己
S	倉 富 彰 秀	永 見 耕 一
3	中 崎 隆 行	今 里 雅 之
2	永 山 雄 二	森 田 馨
B	岡 田 代 吉	松 尾 一

試合経過

虹の松原、鏡山などの風光明眉な唐津は松浦川で行なわれた西医体。この日の為に我ポート部員は、日夜トレーニングに励んできたのだ。このトレーニングが成果が実を結ぶか、どうかは、4分余で結果が出るのです。

ああ! 4分余りの青春よ。

してその試合はというと、

第1日目

第3レース; ナツクルでDクルーが出るが、京大に敗れる。

1 ぱい上りなので敗復へ。

第4レース; シエルでBクルーが出る。京都府立、金沢医との3 ぱいレースで1 ぱい上り、京都府立がダントツ。残念。

第6レース; シエル部門でAクルーが出る。鳥取、岡山、熊大そして長大Aとまるで、

決勝みたいな顔ぶれ。その為、谷川君、難波君ちよつとビビリ気味。

結果 4 位。

第 9 レース ; ナツクル部門で C クルーが出る。ここも熊大 A、京都府立 A、岡山 A といったような強豪ぞろい。名前で負けたらいかんといつて励ましたが、実力でも負けて 4 位。

以上午前中の予選を終わつて、勝ち残つたクルーなし。ただ、皆うつむきかげんで無言。

闘志を燃やしているのだ。

第 10 レース ; ナツクル部門で D クルーが出る。

やつた。阪大、鳥大をおさえて、1 位でゴール。皆おもわずやつたの叫び。

準決 1 番乗り。1 年生ばかりなのに、よくやつた。

第 11 レース ; シエル部門で運悪く、A と B がぶつかつてしまう。他に鳥取大。鳥取大と A

A クルーが死闘を演じる。ゴール前のケリが効いて、かろうじて勝つた。

A クルー準決 2 番乗り。

結局、準決へ 3 ばい進出。明日への望みを大いにつないだ。

第 2 日目

第 1 レース ; ナツクル部門準決。D クルーが出るが、強豪岡山大相手には若すぎた。

3 位で敗退。

第 3 レース ; シェルフオア部門準決。A クルーが出る。

岡山大、熊大、京都府立大が相手。快調なスタートを見せ、岡山大と最後までせり合つたが、最後に息切れ。メダルが目の前にちらついたのでいけなかつたか。

第 5 レース ; ナツクルフオア準決、C クルーが出る。最後の望みの綱であり、期待して

いたが、岡山大 B クルーに敗れ 2 位。最後に伸びたのに残念だつた。

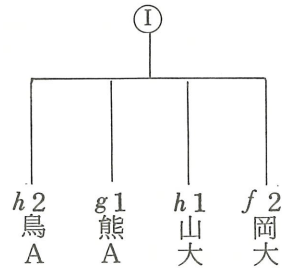
最終結果は

シエル部門決勝		艇差	タイム	ナツクル部門決勝		艇差	タイム
優勝	熊本大	—	3' 22" 2	優勝	京都府医大	—	3' 58" 4
第 2 位	山口大	15 cm	3' 22" 4	第 2 位	岡山大 A	1 $\frac{1}{2}$	4' 02" 5
第 3 位	鳥取大	2	3' 26" 7	第 3 位	岡山大 B	30 cm	4' 02" 8
第 4 位	岡山大	2	3' 33" 4	第 4 位	熊本大	1	4' 05" 1

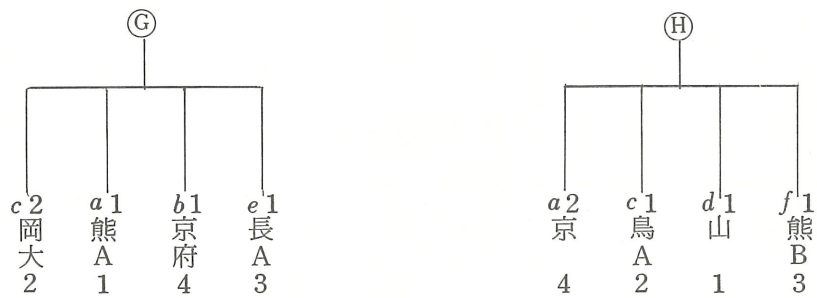
組合せ

シエルフォア部門

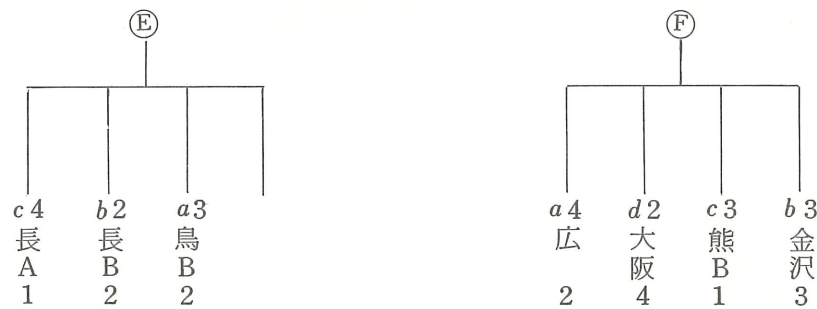
決勝



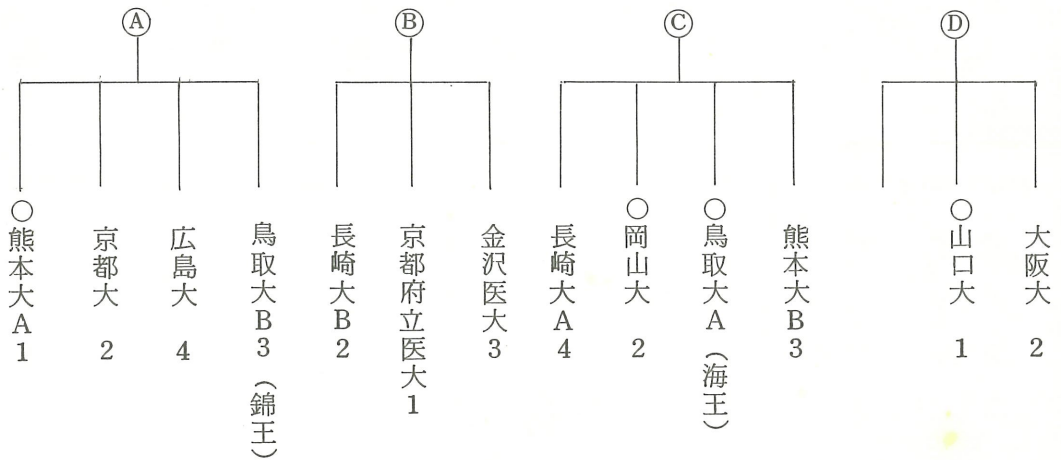
準決勝



敗復



予選

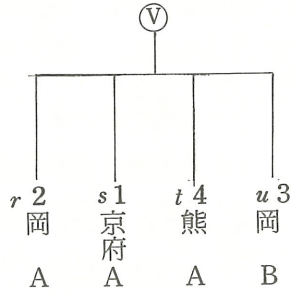


□ はシード校、左から1-2-3-4レーン

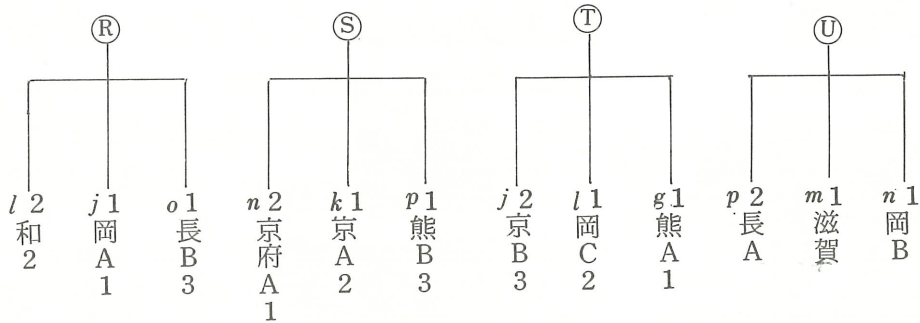
西 医 体 組 み 合 わ せ

ナックルフォア部門

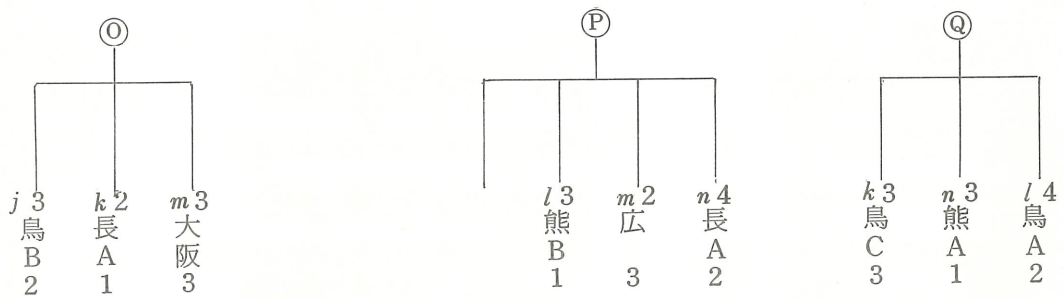
決 勝



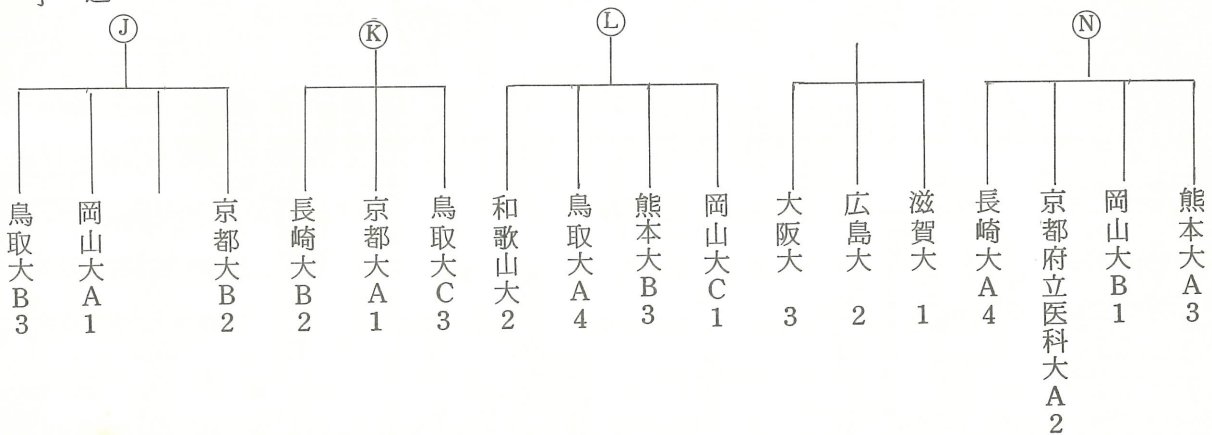
準決勝



敗 復



予 選



シード校 (左から 1-2-3-4 レーン)

キャッチの音

教Ⅱ 末 永 俊 郎

もう2年が過ぎようとしている。ボート部に入つて、初めて波高き大村湾でオールを握つてから……。

教養時代には色々なことがあつた。高校、浪人とたいした変化もなく毎日を送つてきた自分にとつて大学は初体験の連続であつた。ダンパ、合ハイ、キャバレー、ヌード etc. 訳もなく毎日酒をくらつたり、女性を追いかけ、はじめに大酒を浴びたあのころ。合格当時の理想はどこへやら……。合宿、西医体、夏休み、冬休み、春休みの思い出……。

四畳半の部屋で机に向かいながら想う。外はいやに静かだ。雪か。5cmはありそうだ。いつの間に降つていたのだろう。下駄をはき、グラスに雪をとり、ウキスキーシャーベットにして食う。何杯も食う。聞こえてくるのはコツクスの声、オールのきしきし、荒い息づかい、そしてキャッチの音。

今日までの怠惰な生活が反省される。主力選手になるわけだ。よし！頑張ろう。ボートに勉強に……。新たな意欲が胸の中に湧きおこる。

静かな雪の夜、水面をすべるようなキャッチの音が、また聞こえてくる。

一年が経つて

教Ⅱ 永 見 耕 一

入学してというよりは、ボート部に入部して、はや一年が経とうとしている。高校時代に比べて大きく変つた生活、朝の五時まで酒を飲んだり、徹マンしたりしたことが高校の時あつただろうか。一年があつという間に過ぎたという感じなのだが、考えてみると様々の事があつて、酒と麻雀にあけくれた単調なものではなかつた。一番思い出に残つているのは、なんといつても夏の合宿である。二十日間に渡る長期のものであつたが、あの炎天下のもとで、二十分間パドルとか、一回の乗艇で、千mを二回漕いだとか、今考えると信じられない気持ちだ。西医体のオープンで一年のクルーが準決まで残れたのも、あの練習を考えると不思議はないかもしれない。今年の夏の合宿のことを考えると、ぞつとするが、頑張つて去年より良い成績を納めたいものだ。思い出で、一番最初のもものは、一月十六日の初漕ぎの日のことだ。身を切るような冷たい風が吹く中、腰まで海水につかりながら、艇を出して、スプラッシュを盛んにあけながら漕いだ。その後の成人祝のコツプ酒まだ十九の小生も少し飲みました。来年は二十だから一升ぐらい飲まないといけないだろう。ボート部つて、ほんとうに色々なことの経験できるクラブと思えます。

無題

教Ⅱ 永山雄二

僕が、大学に入ってから早くも一年あまりが過ぎようとしています。ふりかえってみるといろいろなことがありました。一番大きかったことはやはりボート部に入つたことだと思います。最初は、ボート部に入らうと思つていたわけではありませんでした。偶然ボート部の人に誘われてこのクラブに入りました。ボートについては全くの初心者だったので、みんな大学に入ってからはじめたということでしたし、先輩方もいい人ばかりだったので、ボートをやってみようと思ひました。

ボートの練習は非常につらいものですが、クルーみんなで力を合せて海の上をすべるあの爽快さはたえようがなく、実際にボートを漕いだことのない人は決してわからないものではないでしょう。また、全力を尽して千m漕ぎ終つたときの満足感もすばらしいものです。それに、夜、練習しているとき、海の中にみえる夜光虫や、夏にみられる螢などは、ふと練習のつらさを忘れさせてくれます。

また、ボート部というクラブを通じて知り合つた友人、先輩もすばらしい人ばかりです。よく人から、大学では、学級内の結びつきよりクラブ内の結びつきの方が強いと聞いていましたが、実際その通りで、授業をうける時も、さぼる時も、酒を飲むときも、みんなクラブの仲間といつしよです。

とにかく、ボート部のおかげで、元気いっぱい充実した大学生活を送っています。いまからも、クラブにはげんでりつばなボート

マンにならうと思ひます。

ボートと酒について

教Ⅱ 岡田代吉

このボート部に入つてから、はやくも、九ヶ月が経ち、このクラブに対するいろいろな思い出ができ、考えも変つてきた。入部当初、暗くなるまでの練習などで、「何故、こんなクラブに入つたのだらう」と思つた。そして、コンパなどで酒を飲む機会が多くなり、大学に入る前は、酒なぞほとんど飲んだことのないぼくだったから、それだけでも苦痛であつた。だから、友達から「酒を飲みに行こう」と誘われても、どうしても行けなかつた。

五月の或る日、先輩に「このクラブに入つてどう思うか……やめたいと思つたことがあるか」と聞かれた時、ハツキリと答えることはできなかつたけれど、正直にいうと、やめたい気持ちがあつた。大学生活は、もつと楽しいべきだなんて思つていた。更に、夏合宿の時は、先輩から聞いていた苦しさ、実際の苦しさが加わり、来年も、その次の年もこんな練習が続くのかと思うと、いてもたつてもいられない焦躁感に耐えきれなくなつた。しかし、そんな気持ちの中でも、身体は、次第に順応してゆき、練習後のすがすがしさが感じられるようになってきた。体力もついてきたようだった。それから西医体に出場した。ぼくたち教一にとっては、初めての大きな試合である。スタートの時、ものすごく緊張した。そのため、シートではなく、シリをはずしてしまい、敗退した。しかし、敗者復活戦では、練習の成果を発揮し、初めての勝利を得た。その時、なんとも言えず、うれしかつた。流れる汗が快かつた。そうだ、これだ

つたんだ。やつとぼくは悟った。何故これ程苦しい練習をしてきたかを。

今まで、ぼくは、クラブは勝敗なんか関係なく体づくりだけだいたいと思っていた。だがそうではなかったのだ。負けるよりは勝つ方がいい。だから、その勝利の喜びを味わうために、厳しい練習をするのだと。練習しても必ずしも勝てるとは限らない。それでもいい勝利への挑戦に変わりはないのだからと。そして、この青春の中に、何か思い出となるものを見出した気がする。ただ、教養の授業はつまらないといつて、だからだと同じような日々を過ごすよりは、そんな生活に活力を与えるものがなければならぬ。ぼくにとつて、それは、ボートであるような気がしてきた。「練習は苦しいな」と思いついながらも、その練習に耐えてゆくことで、人生にも応用できる根性が養われる。友達だつて同じだ。同じように苦しい練習の中で汗を流し、はげまし合い、ある時は批判し合うことで、真の友情が生まれ、そこに連帯感ができてくる。これはうれしいことだ。日常におけるいろいろな悩み、不満は、練習で汗を流すことで忘れることができる。そして気分は爽快になつてくる。

人間は、何かに一所懸命打ち込んでいるときが、一番美しく見える。ぼくがこんなことを言うのは不似合であるが、確かにそう思う。練習の後、顔がちよつと紅潮し、汗がダラダラ流れて、頭の中には何の雑念もない。こんな姿こそ、美しいといえるのではないだろうか。

話は変わるが、酒について少し言いたい。コンパ、合ハイ、ダンパなど楽しいけれど、酒を飲まなければならぬのが少々、苦痛であった。ちよつと飲んだだけで紅くなる。最初の頃は、次第に強くな

るさと言われ、ぼくもその気になつて練習をしてみたが、少しは上達したが、それ以上にはいけない。去年の十一月は、のぼせて飲んだりしたため、ひどい目にあつた。酒の席の雰囲気だけは、どうか楽しめるようになってきたが、飲める量は少ししか伸びなかつた。みんな「酒はうまい」と言うけれど、まだクウマイクと思つたことはない。ただ「自分はあまり飲めないんだな」とわかつただけである。でも、ぼくのような部員が一人ぐらいいても、いいんじゃないのだろうか。今度新入生が入つてきたら、その世話人にでもなろう。酒では後輩にリードされても、クラブの方では、リードしてゆけるようになる。勝利をつかむために。

無 題

教 II 中 崎 隆 行

まず僕がボート部に入部したのは、Y先輩と「勝馬」のママさんのためであつた。

ある日何気なくボート部の練習の見学という名目で見に行つたら、早速その日から練習させられ、いつの間にかボート部に入部していた。しかし今考えてみれば、入部して本当に良かったと思う。その日の練習は、天気が悪かつたためちようど陸トレで本当に苦しく、これから先練習についていけるかどうか不安になつた。しばらく練習後に食欲のない日が続いたが、次第にどうにか練習になれてきた。そして六月の県漕。結果は予選で最下位でしかも他の艇と凄い大差をつけられ、全くひどいものであつた。

そしてあの苦しかつた夏合宿。しかし、今考えてみると、みんな

で一緒に料理を作ったり、風呂に入ったりして楽しかったなと思う。またあれほどスポーツ馬鹿になり、一つの事に打ち込んだというの、たいへん貴重な経験だと思う。その苦しかった合宿の甲斐があつてか、西医体ではどうにか準決勝に出場することができた。決勝には出場できなかつたが出場できない悔しさよりも、全力を出しきつたという清々しさだけが残つた。これからも一所懸命練習して、試合でよい成績を残したいものだ。

いいかげん録

医進1 今 里 雅 之

何故だろう。過去の苦しんだ日々は必ずといっていいほど良い思い出になるのは。

受験 夏合宿

受験の方はどうにか成功でき、努力が報われたためであろうが、夏合宿はどういうものだろう。それまでの自分には信じられない練習量であつた。もうだめだ、もうだめだと思いつつも、結局？逃げ出すこともなく、合宿を終了できた。やはり、自分の過去を否定することは、そのまま現在の自分を否定することにつながるから誰でも過去を良いもの価値あるものと考えようとするのだろうか。

何でも、目標に到達し、一瞬の喜びの後にその現状を当然の事と考え、無感動になる。それで、すべての意義が過程の中にあるようにいわれる。しかし、目標に到達することがそれで、それまでの努力を有意義なものにすることを強める意味でも、我々ボート部は優勝を経験しなければならぬ。そのためにこそ、ボートを漕がない

陸上トレーニングにも身がはいるというものである。

ところが（逆説の多用により悪文となつてしまった）、最近の自分は、今の陸上を今年の西医体の優勝の為の体づくりと考えるより、今自分はたくましくなつていくという三島由紀夫的満足感にひたつている。賢くなつたせいだろうか。いやはやなんとも……。

青春を賭けること

松 尾 圭 一

教2のYさんはボート部きつての芸能通でピンクレディやキャンディーズの振付をうまくこなす。僕は振付はあまり上手でないけど今度Yさんに教授を受け、今度のコンパの時に「UFO」でも踊ろうかと思つている。

ところでキャンディーズは今年四月をもつて解散するという。僕は全国キャンディーズ連盟九州支部長崎サークルの顧問をやつている関係上、彼女らとの（一方的な）お付き合いも長いのであるが、彼女らの解散には断固反対である。「普通の女の子」に戻れるだろうか。彼女らは一つの事に自らの青春を賭けることがどんなに素晴らしいことか身をもつて体験してきたはずだ。それなのに……。彼女らはもう年をとつてしまつたのだろうか。

人間というのは、厳しい境遇におかれると自由が欲しい、自分の好きなことがやりたいと思う。しかし好きなことをやれといつて野放しにされると案外味気ないものではないだろうか。後になつて「幸せだった」と思うのは、厳しさに耐えて一つの事に打ち込んだ時ではないだろうか。麻雀、パチンコ、女に狂つて楽しいことばかり

の様で一本しんが通つてなければ楽しい思い出は残らない。そんな青春は送りたくない。

「ヨイ」の合図のはりつめた空気。「ロウ」の後はただがむしやうらに漕いだ。そうだあの時魚が勢いよく艇の中に入つて来た。あれが青春だったんだなあ。N君と敵しかつた夏合宿の打ち上げの日に「渚のシンドバット」を踊つた。(ほんとうは「やさしい悪魔」を踊りたかつた。)あれが青春だったんだなあ、十年後にそう言つて酒を飲みかわすことができるように、今こそ充実した日々を送つていきたい。

キャンデイズの青春はもうすぐ終るだろう。しかし俺の青春はこれからだ。俺はその青春をポートに賭ける。決して後悔はしないつもりだ。

現役部員のプロフィール紹介

出口 正 己 学4

一、二年前までは浦上駅前あたりで「ミスター浜口」と噂される存在であつたが、現在は、卒試、国家試験にむかつて猛然と勉強に励んでいるようだ。そのため最近ボート部に顔をだしてくれなつたのが残念。

小倉 猛 学3 Aクルーコックス

毎年、毎年留年の噂をふきとばしながら歩んでいく根性の男。勉強、生活時間などすべてマイペース。たとえ授業だろうとそのペースをくずす障害とはならない。ボートの面でもそのマイペースぶりを発揮して、名整調として活躍してきた。

小村 三代治 学3 コックス

ボート部のけん引的存在。都城の野山でいのししと共に育つたというだけあつて野生的で、精悍なマスクをもつ。そこで培われたガッツとファイトはボート部の精神に直結している。

成松 元 治 学3 コックス

考えた事はすぐに実行に移すというすごい実行力と、驚異的大酒飲みと、若干?のいやらしさが合体して生まれた恐るべき大物。この人のエピソードをあげれば大村湾を埋めつくすほど。しかし

豊富な話題、ユーモアや後輩思いのため人望厚く後輩皆に慕われている。

水谷 明 正 学3 コックス

成松さんと並ぶ名コックス。なかなかのハンサムでジュリアン・ジエンマに似ているなどと言われて慕ってくる女の人も多い。まじめな顔をしていて急に、突拍子のない冗談を言うのが特技。

井上 健一郎 学3 Aクルー2番

ボート部現役部員の中で一番の巨漢。いつもンーンンと口走りながら西医体をめざして闘志を燃やしている。しかもボート部をささえる存在。彼の存在がなかつたらボート部はやつていけないのではないかと思われるほどのボート部フィクサー。

前原 洋 二 学2 主将

肝臓の病気のため(原因は酒の飲みすぎか。)現在はキャプテン兼指導者として活躍。かつてヤクザとけんかなどをして正義漢ぶりを発揮したが、今では体ともども心も丸くなり、まことに良いキャプテンである。

村山 晋 学2 Bクルー3番

ロマンツァー合唱団にも籍をおいているフェミニスト。笑顔が魅力的で、女の子の前では特にはじけんばかりの笑い顔。しかし、そろそろ中年のいやらしさが出はじめているとか。

谷川 宗生 学2

ミスターボート部。ボートに自らの青春を捧げ完全燃焼しつくりた子々川の海の勇士。ローイングのテクニクはボート部ピカ一と言われていたが、現在腰を痛めて大学病院で療養中。再起の日を願ってやまない。

難波 裕幸 学2 副主将 Bクルー・バウ

ボート部一の勤勉家。ボートに対する情熱もすこく、最近昼休みのマツスのせいで一段と体がたくましくなってきた。女の子にあまりもてないのが玉にきずである。

山近 史郎 学1 Aクルー整調

ボートとダンパのテープ作りに青春をかけ試験前でも子々川に現われ後輩の指導をする。よつぼど暇か？ボートを愛しているのか？Aクルーの整調としてやる気十分。去年から今年にかけて人間的にも進歩。

倉富 彰秀 学1 マネージャー Bクルー整調

一見真面目でおとなしうであるが、実は何を考えているかわからない人。有能なマネージャーとして活躍しているかと思うと半面大きなドジをやらかす。のんびりしていて案外実行力のある好人物。

末永 俊郎 教2 Aクルー・バウ

教養生のボスの存在で漕歴3年のキャリアを持ち、数々の生きズ

にも負けず練習に励んでいる。彼の姿こそボートのみに生きる男の姿である。「教3をないがしろにして」などの口ぐせを持つ。

岡田 代吉 教2 Dクルー・整調

代吉ドンのあだ名で親しまれ、去年から今年にかけて大きく変身してたのもしい人物に変わってきた一人。常にウイットに富んで冗談で自己弁護をして自己の危機をのりこえるのが旨い。

今里 雅之 教2 Cクルー・バウ

黒いふちどりのサングラスをかけ助手席にいつも謎の女を侍らせ三菱ランサーを乗りまわすボート部のプレーボーイ。ただし時計がPM3:00を回らないとお目にかかれぬ夜行性人間。

永見 耕一 教2 Cクルー・整調

将来のボート部を背おう名整調。去年一年間は、すべての非難が彼に集中したが後輩日高の発揚によつて大人への華麗なる変身を遂げた。それと共に彼女ができたという噂。ああ春が来た。

永山 雄二 教2 Bクルー・2番

佐藤佑介に似ていると言われる。おとなしい存在なので部ではあまり目立たないが各短大では、かなり有名らしい。真面目そうだが、よく授業をさぼり、他の同じ組の者に迷惑をかけている。

松尾 圭一 教2 Dクルー・バウ

肩書 元キャンディーズ・ファンクラブ長崎支部長。早くも腹が

ではじめ豆タヌキ風。親父さん供々愉快的な男。彼一人おれば座は
しらない。先輩を常にたて後輩の面倒をみるやさしさを備えて
いる。

松 吉 正 雄 教1 Cクルー・3番

教1だが修猷館を出て倉富と山近の同級生だったということ以外
さだかでない。大きな体で、将来、Aクルーの3番を漕ぎ、ボ
ト部全体を背負っていくことは間違いないだろう。

小 林 誠 博 教1 Cクルー・2番

教1の2枚目。上品で端正なマスクは皇室アルバムを思っておこす
ほど。(実は浩宮様によく似ている)決して無駄口をたたかない。
YESかNOかを答えるだけでそれがまた彼の魅力。

日 高 教1 Dクルー・パウ

容姿、顔すべてユーモラス。一見田舎者に見まぢがえられるが実
は、都市の鹿兒島市育ち。非常に純情そのものでどんなことでも
信じてしまう。その純情さを失なわずボート部員として成長して
ほしい。

平 野 友 久 教1 Dクルー・パウ

まだまだ入部してきたばかりで一年生らしさが全身からただよつ
ている。常に笑顔を忘れず明るい。先輩のバカ話を聞いては大き
な声で笑う。一年でどう変わるか楽しみな存在。

昭和52年度長崎大学医学部漕艇部決算報告

昭和52年4月～昭和53年3月

	摘 要	金 額
収 入	部 員 負 担 金	1,500,000
	寄 附 金	460,600
	ライトエース購入部員負担金	36,000
	行事(ダンスパーティー ・バザーによる収入)	107,000
	西 医 体 保 険 金	40,000
	前 年 度 繰 越 金	26,871
	小 計	2,170,471
支 出	遠 征 援 助 費	280,000
	遠 征 費 及 び 合 宿 費	1,262,000
	選 手 エ ン ト リ ー 費	36,000
	ライトエース購入資金	220,000
	部 品 代	127,720
	艇 整 備 費	122,000
	旧トラック維持費	126,000
	諸 雑 費	28,000
小 計	2,201,720	
	残 金	-31,249

長崎大学医学部漕艇部

OB会発足について

私たち漕艇部は、毎年、毎年OB諸氏の方々に寄付金その他で、大変御協力いただいております。寄付金を集めるにあたってOBの方々からもつと確立したシステムを作つたらどうかという御忠告をいただきました。

実際、漕艇部で常に問題になるのは資金の問題です。幸い西医体の遠征費は寄付金でまかなわせていただいておりますが、九州大会、九州朝日レガッタの遠征費並びに艇の整備費は部員が自己負担をしているのが現状です。又我が漕艇部所有の艇であるシエル「雲仙」、ナツクル「多良」もすでに5年目をむかえ、すでにボートとしての寿命の頃になり新艇の購入を考えねばならない時期となりました。

そこで、新艇購入と漕艇部自体の円滑な運営及び、現役部員とOB諸氏との親睦を深めかつまた、OB諸氏間の親交を暖めることを目的とした後援会を「OB会」の名の下で発足したいと考えております。OB会自体まだまだ草案の段階であり、諸先輩の意見を伺い大きな、土台のしつかりした会にしてゆきたいと思つています。

詳細は、直接お会いしてあるいは、お手紙でお知らせいたします。そのせつは卒直な意見をお聞かせ下さい。

長崎大学医学部漕艇部

OB会会則草案

第一条 本会は長崎大学医学部漕艇部OB会と称する。

第二条 本会の事務所は、長崎大学医学部漕艇部内に置く。

第三条 本会の目的は、漕艇部の円滑な運営の為に、精神的、物質的な援助を行ない、あわせて部員の身体の練成ならびにその人格の陶冶を図り、会員相互の親睦をはかるものとする。

第四条 本会の会員は、漕艇部OBからなる一般会員ならびに本会の趣旨に賛同する顧問をもつて組織する。又、会計事務及びその他連絡には学部四年生があたるものとする。

第五条 本会には左記の役員を置く。

(1) 会長 一名 会務を総理して本会を代表する。

(2) 会計事務 二名 会計及び事務をつかさどる学部四年生があたる。

役員は左記の方法によつて選出する。

(1) 会長はOB会において互選する。

(2) 会計事務は学部四年生内で互選する。

役員の任期は一年とする。ただし再任は妨げない。

漕艇部長はOB会に出席し、部の事情を説明しなければならぬ。

総会は年に一度これを開くものとする。

第十条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもつて

あてる。

第十一条 本会の会費は、一般会員より徴収して月額五千円とする。

第十二条 本会の会計年度は、毎年四月一日より始まり、翌年三月三十一日に終わる。

第十三条 本会の予算は総会の承認を得なければならない。

第十四条 本会には左記の帳簿を備える。

(1)会則

(2)会員名簿

(3)会計簿

第十五条 会則の変更は総会の承認を得なければならない。

長崎大医学部漕艇部関係者名簿

(アルファベット順)

氏名	住 所	電 話	勤 務 先	卒 業 年 次
青木 義勇	長崎市西山町1-50	21-1874	長大医学部名誉教授	昭和6年
阿部 義治	〃 光町18-14	61-5774	開 業	15
石橋 盟士	〃 中園町22-17	45-6181	開 業	30
大須賀 浩	〃 弁天町17	61-3576	開 業	30
片伯部 貢	〃 本原3	44-3043	開 業	
片峰 大助	〃 船大工町2-15	22-0689	長大熱研寄生虫学教授	14
木谷 博	〃 大浦町8-16	22-2964	開 業	30
鈴谷 悦堂	〃 緑対丘1341	46-2052	開 業	19
清水 武	〃 滑石町26-3	56-1621	原研生理学教授	30
城谷 勝明	〃 諏訪町6-23	22-6831	開 業	20

高木 聰一郎	長崎市今博多町 37	22 — 2812	開業	20
高久 功	〃 本尾町 4—15	44 — 4087	長大眼科学教授	東北大
田川 段一郎	〃 白鳥町 7—20	44 — 0966	開業	7
星野 行弘	〃 浪之平町 37	22 — 8702	開業	30
宮城 重信	〃 築町 3—1	23 — 2494	開業	14
村上 文也	〃 平野町 1—25	47 — 5132	開業	20
村田 農六	〃 平野町 22—21	44 — 2460	開業	14
山口 邦夫	〃 葉山町 286—30	56 — 8664	開業	14

長崎大学医学部漕艇部OB名簿

氏名	卒業 年次	教室	勤務先	勤務先住所	現住所	帰省先
朝戸川 須江夫 治	49	女子医大消化器 センター	湯ヶ原胃腸病院	神奈川	千葉県八千代市八千代台西8-12-11 (0474-83-9020)	
川口 昭男	51	長大医 第1外科	長大附属Hp		長崎市中園町15-15(47-5529)	
神田 源太	51	〃 産婦人科	佐世保総合Hp 産婦人科		佐世保市一ノ瀬産婦人科Hp内 (22-8082)	片淵町 1-35
瀬戸 信二	49	〃 第3内科	長大附属Hp		時津町浦郷	同左
早田 篤	49	〃 小児科	国立小児Hp アレルギーカー科		世田谷区太子堂3-35-31	
田川 泰	49	〃 第1外科	長大附Hp		長崎市白鳥町7-20	同左
田中 精一	51	女子医大消化器 センター 脳神経外科	同左(消化器4階) 山口県立中央Hp 脳外科	新宿区市谷河田町 (03-353-8111内線541-3) 防府市八王子2-8-8	新宿区南横町31 岩川アパート	島原市 長崎市
提提 健二	51	長大医 脳神経外科				
富海 五郎	49	〃 第2薬理	慈恵曾根病院外科	小倉南区大字沼49 (093-471-2881)	長与町高田郷 1613-4 (095888-3-5871)	
中野 丈正	49	長大医 第2外科				
丹羽 正美	49	〃 第2薬理				
野崎 公敏	49	〃 第2薬理				
冬野 誠三	47	長大医 第2内科	九大医 第2内科	東区馬出3-1-1	福岡市西区室見1丁目2-9	
松本 惠一郎	48	国立大阪Hp内科	同左		高石市東羽衣4丁目15-4 (07-62-5073)	同左
馬渡 一雄	49	国立長崎中央Hp 小児科	長大医 第2病理		大手町 407-24	
光藤 一雅	49	国立長崎中央Hp 小児科	同左			
峰 雅宣	48	長大医 第1内科	長大附Hp			
吉本 雅昭	47	〃 小児科	〃		本河内町 817	

長大医学部漕艇部現役部員名簿

(昭和53年5月5日現在)

氏名	学年	現住所
出口正己	学4	長崎市西北町11-7青野アパート
井上健一郎	学3	岩屋町511
小倉猛	〃	本尾町1-33辻方
小村三代治	〃	音無町11-3森川方
成松元治	〃	中園町16-7柴田方
水谷明正	〃	白鳥町7-20田川方
谷川宗生	学2	西彼杵郡長与町高田郷2273-4
難波裕幸	〃	長崎市泉町260山田方
村山晋	〃	油木町257高比良アパート
前原洋二	〃	坂本町11-14
倉富彰秀	学1	西彼杵郡時津町浦郷字市場396-17
山近史郎	〃	長崎市横尾町1480-8
末永俊郎	教2	岩川町10-13可児方
今里雅之	〃	岩川町13-5-302
岡田代吉	〃	立山町930笹島方
中崎隆行	〃	平和町9-13水田ビル31号
永見耕一	〃	高尾町15-4永田方
永山雄二	〃	清水町9-18白水荘16号
松尾圭一	〃	浜平町313佐藤方
小林誠広	教1	高尾町15-4永田方
日高真	〃	花丘町9-3清水方
平野友久	〃	西坂町3-14

松吉正隆 教1 長崎市昭和町177松尾荘

琵琶湖周航の歌 (大正七年)

一、われは湖(うみ)の子さすらひの

旅にしあればしみじみと

昇る狭霧やさざなみの

滋賀の都よいざさらば

二、松は緑に砂白き

雄松が里の乙女子は

赤い椿の森蔭に

はかなき恋になくとかや

三、波の間に間に漂へば

赤い泊火(ともしび)なつかしの

行方定めぬ浪枕

今日は今津か長浜か

四、瑠璃の花園珊瑚の宮

古い伝えの竹生島

仏の御手にいだかれて

ねむれ乙女子やすらけく

以下六番まで

ボート精神 (ボート百年より)

「楫を持つて帰れ、然らずんば楫に乗つて帰れ」と言われた古代オリンピックから、近代オリンピックの祖クーベルタン男爵が、カントベリー僧正の言葉から「オリンピックとは勝つことでなく参加することである」を標言として、世界の青年男女に呼びかけて毎回の大会は盛大さを加えてきたが、今のオリンピックはアマ・プロ問題と、スポーツの政治化に浸食されつつある。

変わらないのは紀元前二、三千年のガレー船の昔から、ボートの漕手は艇の進行方向に尻を向けて座り、ただひたすら前向きの手号令通り漕ぐ団体競技であることである。

完全な団体競技であるから、ボートは精神第一、漕法と体力が第二で、勝負の結果は第三である。レースする以上、勝たねばならぬが、そのためには第一、第二に徹しなければならない。

強い四人と弱い四人がひとつのエイトを一緒に漕ぐ。細いエイトはローリングして摩擦抵抗を大きくし、強弱漕手の力も相殺してしまい艇速は伸びない。下手は下手なりに八人揃った方がタイムの良い場合がある。陸上競技の四百米リレーの二組レースで七人が百米十秒、一人は九秒であれば、九秒走者のいる組が勝つが、ボートの団体漕ぎだと艇が曲つて、舵手はよけいな舵を引き、艇の摩擦抵抗とローリングで艇速は伸びなくなってしまう。

ボートの意義の第一「精神」は互いにクルーを信じ合つて頑張る合い、第二により 皆が一致すれば、意義の第三の「勝負」は自然に決まる。若い頃のクルーを信じ合う精神は、社会に出てからも大変役立つ。その精神は、特に他人の足をひっぱつても自己の保身と

出世を期する社会的新人の中にあつて、美しい高層建築の基礎を成すものである。コンクリートの中に繊細なセメントと砂に混つてガラクタ石のような縁の下の力持ち精神の一人か二人がなければ、高層ビルも大事業も成り立たない。ガラクタ石になることは苦しい修業だが、一度でもボートの本格的練習に打ち込んだ者は、だれでも「若い頃、ボートを漕いでおいてよかつた」と思っている。

正直なところ、日本は四十余年毎年オリンピックに参加はしているが、入賞していない。しかし若い現役はあえて先輩の衣鉢を継いで、負ければ負けるほど熱心に縁の下の力持ちを、地味で入場収入のないボートに志していく。ボート百年の伝統の力か、あるいは自から若い中に茨の道を選ばんとするものか？

富田勝善著「ボート百年」より

編集後記

12月の雪の頃でした。第三号の漕魂を作成しようと思いついたのは。

初漕ぎの日には、原稿があつまり、1月中には完成するだろうと構想をねっていた。ところがどっこい！1月中はまあいいや、2月は試験勉強があるから、3月の試験が終わってから作ろうと構想をたてなおした。おつとどっこい、3月は人があつまりらないから4月いっぱいには作れないや。またまたどっこい、4月も末となつて、僕の目も焦点さだまらずあわてはじめ、5月になつてやつと重い腰をあげた。

構想のから漕ぎばかりつづいて、ちつとも前へ進まない、漕魂号であつたが、やつと長い長いゴールへ。
みごとにローアウトしてほつと一息。
なお、本誌の刊行にあたって、いろいろと御支援して下さいました各会社の方々及び諸先輩に深く感謝しております。

編集責任者 難波裕幸

本誌刊行にあたって御援助いただいた会社は次のとおりです。

(アイウエオ順)

- ・(会)東 七太郎商店
- ・伊東薬品株式会社
- ・大塚製薬株式会社
- ・大黒南海堂株式会社
- ・田辺製薬株式会社
- ・藤沢薬品工業株式会社
- ・持田製薬株式会社

心からお礼申しあげます。

漕艇部

4. 思いの前の... とにかし... 3の...
2分... 2分...
2分... 2分...

5. ...
500m... (1分30~2分)
4~5分...

... time...
2. 3. 4...
...

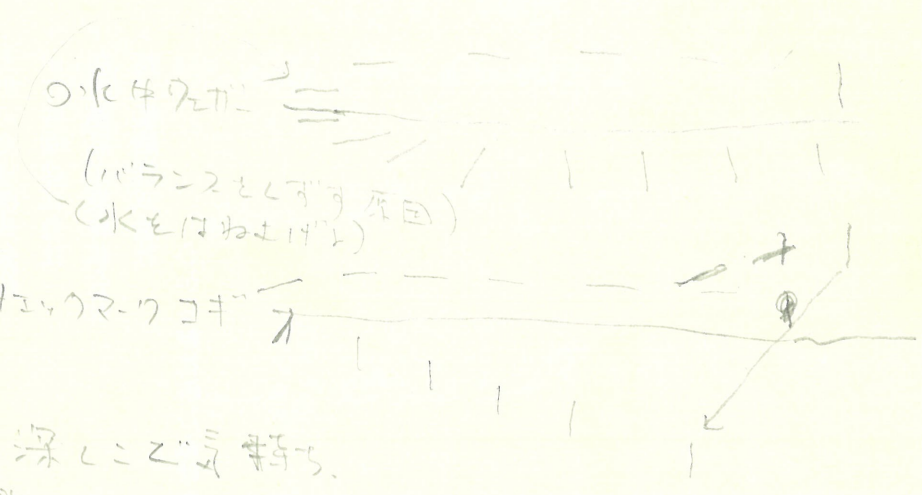
1分 — 22
1分 — 28
2分 — 22
2分 — 28

水

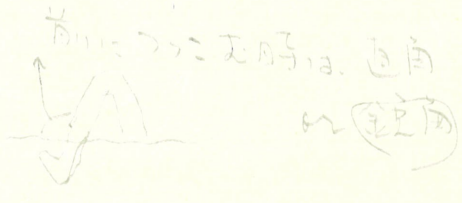
1. 正しいやり方 — 角度 etc の調節 (リガーの高さ (15cm) — うらうらの低面とシートの高面との差 (4~7°) 座面の差)
 2. リズム — 水中連と空中連
 3. 水平に滑る
 4. 太さ
 5. ムキとエッジ — 2,3,4のあと 2,3,4,5は同じやり方
- 外側側にたあすと、キックがでかくなる
70%は2で切れるとよい
自身者になる
- 練習の順序決まる

2. 3回~10回を — 定常と非定常 (水中連、空中連)
 - 一本口
 - 3本口 (通常口のようにして) ~ 10本口
 - ハンズアウェイ連

3. sharp turn
 - finish catch
 - 山にまがらう力を抜かせ



浅い入水、深い入水は、
壁の力の問題。



- 1人こぎ
- ペアこぎ (スローク → エッジ → バウ)
- 上体こぎ

打撲・ねんざ・筋肉痛に……

三共シップ

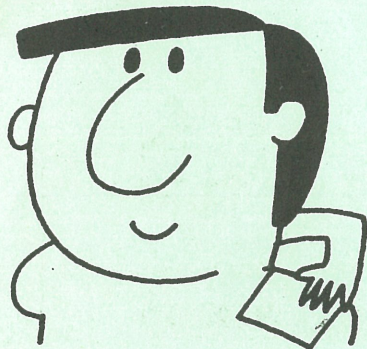
(13.6cm × 10cm) 6枚入
12枚入

三共シップ、爽やか10ポイント

三共シップは、特長ある水性基剤を用いた、清潔で爽やかな“パップ剤”。シップ薬とはり薬の、それぞれ良さが上手にいかされています。救急箱に常備して、お役立てください。

① お肌にピッタリ

肩、腰、ヒザ…どんなところにも、よく密着します。

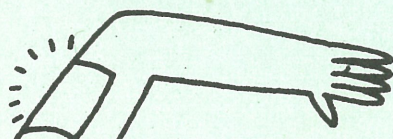


② しっとりとした肌ざわり

貼って1日たっても、ごわごわしたりしません。

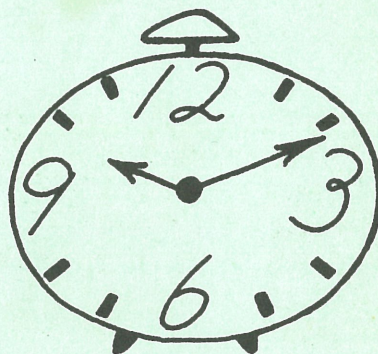
③ べとつき皆無

不快な“べとつき”がなく、じつに爽快です。



④ なが〜い効きめ

使用は、ふつう1日1回でじゅうぶんです。



⑦ はがす時に痛くない

ご使用後、スムーズにお肌からはがせます

⑧ お肌を汚さない

はがした後に、お肌にあとが残りません。

⑨ 爽やかな使用感

すっ〜とした感触。爽やかに痛みをやわらげます。

⑤ ひんやり気持ちいい

適度な冷感があり、とくに熱をともなった痛みにも効

⑥ お肌への刺激が少ない

カブレ・カユミの心配はほとんどありません。



⑩ 薬剤面はまっ白、清潔

しかも、独特の芳香をもっています。